

## 2005年度(平成17年度)(第110回)総会・学術評議員会記録

日時：2004年(平成17年)3月30日(水)12:00～13:30

場所：富山医科薬科大学講義実習棟大講義室

開会の辞 高田庶務担当理事より本総会は出席者179名委任状1,226通、合計1,405名で会員総数2,200名の過半数(1,101名)を上廻り、定款31条に定められた定足数を超え成立し、学術評議員会は434名のうち、既に委任状323通が届いており、出席者をあわせると定款施行細則9条に定められた定足数87名(学術評議員数の1/5)を超え、成立している旨の報告がおこなわれ、開会が宣せられた。

議長選出 高田庶務担当理事より議長として大谷修会頭を推薦したい旨、提案があり、承認された。続いて議長より副議長に井関尚一教授を、書記に吉田淑子助教授を推薦したい旨、提案があり、承認された。

### ・議事録署名人の選任

高田庶務担当理事より議事録署名人として妹尾春樹秋田大教授、牛木辰男新潟大教授を推薦したい旨、提案があり承認された。

### ・理事長報告

開催中の第110回全国学術集会大谷修会頭、井関尚一副会頭、組織委員会の先生方への感謝につづき、この一年の出来事として成功裡に終わった第16回国際解剖学会議、学会事務センターの破産とその事後処理についての報告がおこなわれた。続いて解剖学会をとりまく環境として日本学術会議、解剖学研連の改組、卒前卒後教育の変化を取り上げ、解剖学会としては決して好ましい変化ではないと、機会あるたびにこの点を訴える必要のあることを指摘した。そしてこのような状況にあっても解剖学会のサイエンスとしての内容および医学教育における解剖学教育の質を高めてゆくことが学会員にとって最も大切なことである点を強調した。

### ・報告事項

#### 1. 会員報告

平成16年12月31日現在、正会員2,175名、名誉会員153名、永年会員69名、賛助会員58名、団体会員47名、海外会員19名である旨、報告がおこなわれた。

#### 2. 物故会員

3名の物故会員の氏名が朗読され、続いて出席者全員による黙祷が捧げられた。

#### 3. 教授就任による新学術評議員紹介

教授就任による新学術評議員2名の紹介が資料に基づきおこなわれた。

#### 4. 学会事務局の変更

学会事務センターの破産にともない、平成16年10月1日より学会事務局が財団法人口腔保健協会へ移転したことが報告された。

#### 5. 入会関係書類の変更

事務局の変更に伴い、入会関係書類(新入会、住所変更、氏名変更)が新しくなったことが報告され

た。あわせてあらたに作成された賛助会員入会・寄付申込書が紹介された。これらの書類は解剖学会ホームページからダウンロード可能となる予定である。

またこの件と関連して講座名等の変更があれば出来るだけ早く事務局に連絡頂きたい旨の要望がなされた。

## 6. その他

解剖実習中のホルマリンの問題に関して、解剖体委員会と連絡をとりながら慎重に対処してゆきたい旨、報告があった。

## 審議事項

### 1. 新永年会員の件

理事会より推薦の 10 名の候補者につき資料をもとに審議がおこなわれ、承認された。

### 2. 申請による学術評議員の件

理事会より提案の 5 名の候補者について資料をもとに審議がおこなわれ、承認された。

### 3. 平成 16 年度事業及び業務監査報告の件

学術集会開催状況 会議開催状況 内外学術団体との協力ならびに連絡 学術誌刊行状況  
以上の 4 件につき資料をもとに説明がおこなわれ、承認された。なお、に関連して第 16 回国際解剖学会議の報告が井出千束組織委員長より、IFAA General Assembly の報告が河田常務理事よりおこなわれた。

委員会報告 1) 解剖組織技術士資格審査委員会(委員長 大野伸一 山梨大学教授) 2) 解剖体委員会報告(委員長 相磯貞和 慶応大学教授) 3) 解剖学用語委員会報告(委員長 坂井建雄 順天堂大学教授) 4) 海外交流委員会報告(委員長 明坂年隆 朝日大学教授) 5) 教育委員会報告(委員長 片岡勝子 広島大学教授) 6) 情報技術委員会報告(委員長 辰巳治之 札幌医大教授) 7) 学術委員会報告(委員長 藤本豊士 名古屋大学教授) 8) コ・メディカル教育委員会報告(委員長 大谷 修 富山医科薬科大学教授) 以上 8 委員会の平成 16 年度委員会活動について、資料をもとに報告がおこなわれ、承認された。

研究の奨励および業績の奨励 平成 16 年度奨励賞受賞者(2 名)について資料をもとに報告がおこなわれ、承認された。

技術士認定 3 名の 1 級技術士合格者、2 名の 2 級技術士合格者および現在までの技術士累計について報告がおこなわれ、承認された。

### 4. 平成 16 年度決算および会計監査報告の件

平成 16 年度決算について資料をもとに説明がおこなわれ、審議の結果、承認された。またこの決算等についての会計監査結果が、内山安男監事から報告され、小出将恵公認会計士の監査報告書とともに承認された。

### 5. 平成 17 年度予算および事業計画の件

資料をもとに説明がおこなわれ、審議の結果承認された。

### 6. 平成 18 年度予算執行の件

平成 18 年度予算執行に関し、総会開催までの 1~3 月分の収支については理事会に一任することが承認された。

### 7. 日本解剖学会学術評議員選出規約改訂の件

資料をもとに説明がおこなわれ、審議の結果承認された。

8. 平成17・18年度役員選任の件

学術評議員による標記役員選挙結果と、新理事の互選により、新理事長として廣川信隆氏、常務理事として河田光博氏、沢田元氏、柴田洋三郎氏、高田邦昭氏が選出されたことが報告、承認された。

平成2005・2006年度役員リスト（任期：2005年3月30日～2006年度総会終了時）

| 役職名  | 氏名    | 現職名                     | 備考 |
|------|-------|-------------------------|----|
| 理事長  | 廣川 信隆 | 東京大学大学院医学系研究科教授         | 留任 |
| 常務理事 | 河田 光博 | 京都府立医科大学教授              | 留任 |
| 常務理事 | 澤田 元  | 横浜市立大学医学部教授             | 新任 |
| 常務理事 | 柴田洋三郎 | 九州大学大学院医学研究科教授          | 留任 |
| 常務理事 | 高田 邦昭 | 群馬大学医学部教授               | 留任 |
| 理事   | 脇田 稔  | 北海道大学大学院歯学研究科           | 新任 |
| 理事   | 近藤 尚武 | 東北大学大学院医学系研究科教授         | 留任 |
| 理事   | 井出 吉信 | 東京歯科大学教授                | 留任 |
| 理事   | 高野 吉郎 | 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授   | 留任 |
| 理事   | 大野 伸一 | 山梨大学医学工学総合研究部教授         | 留任 |
| 理事   | 杉浦 康夫 | 名古屋大学大学院医学系研究科教授        | 留任 |
| 理事   | 藤本 豊士 | 名古屋大学大学院医学系研究科教授        | 新任 |
| 理事   | 内山 安男 | 大阪大学大学院医学系研究科教授         | 新任 |
| 理事   | 塩田 浩平 | 京都大学大学院医学研究科教授          | 新任 |
| 理事   | 石村 和敬 | 徳島大学大学院ヘルスパイオサイエンス研究部教授 | 新任 |
| 理事   | 竹内 義喜 | 香川大学医学部教授               | 留任 |
| 理事   | 菅沼 龍夫 | 宮崎大学医学部教授               | 留任 |
| 監事   | 仙波恵美子 | 和歌山県立医科大学教授             | 新任 |
| 監事   | 中河 志朗 | 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科教授      | 新任 |

. 第111回日本解剖学会総会・全国学術集會会頭挨拶

標記総会・全国学術集會会頭山科正平北里大学教授より平成18年3月29～31日に北里大相模原キャンパスで開催する旨の挨拶があった。

閉会の辞 大谷修会頭より閉会の辞が述べられ、平成17年度（第110回）総会・学術評議員会が終了した。